

8/16

平成遣欧少年使節が
市長へ帰国を報告

天 正遣欧少年使節団にゆかりのある5市1町で構成する「天正遣欧少年使節ゆかりの地首長会議」では、各自治体に住む中学生を3年ごとに「平成遣欧少年使節団」として、当時の使節団が訪れた国々に派遣して、現地の学生と交流などを行っています。

7月28日に大村市から派遣された中学3年生の江上聖志朗さんと堀江茉莉さんが帰国し、ローマ法王との謁見の様子や使節団の偉大な功績、現地に残された遺産などを、直接見聞してきたことを松本市長に報告しました。



8/22

上 駅通り地区市街地再開
発事業起工式

上 駅通り地区市街地再開発事業の起工式が工事関係者の主催により東本町の現地で行われました。上駅通り地区市街地再開発組合（渡邊忠俊理事長）をはじめ松本市長など約70人が出席し、工事期間中の安全を祈願しました。

この事業は、地元商業の活性化やにぎわいの創出、防災性の強化などを目的に、同再開発組合が整備を計画。総事業費は約45億円で、建設される建物は、地上14階建ての分譲住宅や商業施設、賃貸住宅を備えた複合ビルで、2012年9月ごろの完成を予定しています。



9/3

9 自殺対策シンポジウムを開催

9 月10日からはじまる自殺予防週間に先がけ、「第5回自殺対策シンポジウム in 県央」が、市民会館で開催されました。

シンポジウムでは、女優の音無美紀子さんが基調講演を行い、続いて徳島大学の大森哲郎教授が講演し、このところの自殺問題を私たちの身近な問題として考える機会となりました。

市では、平成22年から「庁内自殺対策協議会」を設置し、さまざまな自殺予防に対する取り組みを行っています。今後も、自殺問題を社会全体の課題としてとらえ、対策を進めていきます。



市長コラム

市長
コラム
vol.2

第24回FIBA ASIA女子バスケットボール選手権長崎／大村大会が8月28日に市民の皆さまのご協力により成功裡に閉幕しました。中国、韓国、日本、チャイニーズ・タイペイ、インド、レバノン、スリランカ、インドネシア、カザフスタン、マレーシア、シンガポール、ウズベキスタンの12か国が大村の地に集まりました。このような国際大会が開催できたことを、私どもは大変誇りに思うとともに、チャレンジすれば夢は必ず実現できることを実感しました。市民の皆さまに心から感謝いたします。

例えば、3年程前にバスケットボール協会のN君が私の所に来て、「市長、アジア女子バスケットボール選手権をぜひ大村に誘致しましょうよ!」と言いました。「何て無茶な、夢物語だ」というのが私の第一印象でした。ところが、N君たちの熱意は関係者を動かさし、大村が開催候補地となりました。それには、平成10年にシールドおむら開館の際、バスケットボール男子実業団の公式戦が開催され、それが縁となつて公式戦、男子日本代表チームの合宿、国際親善試合、女子実業団JOMOなどの合宿の大村市誘致などの積み重ねがありました。最終的に国内大都市の候補地ではなく、大村市での開催が決定しました。その後も、予算面などさまざまな高いハードルがありました。議会をはじめ市民の皆さんと二丸となり開催にこぎつけました。

各所に掲示した子どもたちの描いた「のぼり」、市内小・中学生の無料招待による観戦や各国の応援、子どもたちと選手の交流など、高い評価をいただくとともに「大村」という名前を国内外に発信できたと思います。

このような国際スポーツイベントの開催を契機として、2014年に控えた「長崎がんばらんば国体」の成功と、アジア大会や全国大会などの各種スポーツ大会・合宿の大村誘致をさらに目指していきます。